

令和5年度

教育委員会事務の点検及び評価に関する報告書
(令和4年度事業)

鏡野町教育委員会

I はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号。以下「地教行法」という。)第26条の規定により、教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととなっています。

本報告書は、令和4年度における鏡野町教育委員会の活動及び事務について点検及び評価を行い、その概括を報告するものです。

II 点検及び評価の対象

次の項目について、令和4年度の実績に基づき点検・評価を行いました。

- ①鏡野町教育委員会の活動状況
- ②鏡野町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況

III 点検及び評価

1 教育委員会の活動状況

① 教育委員会の開催

教育委員会は、定例会を毎月1回と、必要に応じて臨時会を開催しています。令和4年度は、定例会を12回、臨時会を1回開催しました。ほぼ毎回全員が出席し、十分な時間をかけて審議及び協議を行いました。

日にち	主な議決・協議事項
4月27日	鏡野町立学校評議員及び鏡野町学校運営協議会委員の委嘱について 鏡野町郷土館運営委員の委嘱について
5月24日	石田奨学会運営審議会委員の委嘱について 松本奨学会運営審議会委員の委嘱について 令和4年度6月補正予算について
6月24日	鏡野町学校給食費取扱規則の一部改正について 鏡野町大学生等生活応援給付金給付要綱の制定について
7月21日	鏡野町立中学校部活動地域連携検討委員会設置要綱の一部改正について 鏡野町高校生等生活応援給付金給付要綱の制定について
8月24日	鏡野町学校給食アレルギー対応検討委員会委員の委嘱について 鏡野町指定文化財の指定解除について 令和5年度使用小中学校教科用図書の採択について 令和4年度9月補正予算について
9月22日	鏡野町学校給食アレルギー対応検討委員会の答申について 鏡野町指定文化財の指定内容変更について 令和4年度教育委員会事務の点検及び評価に関する報告書について 令和4年度学校等訪問について
10月21日	令和4年度学校等訪問日程の決定について

11月25日	学校給食における食物アレルギー対応マニュアル(案)について 公の施設に係る指定管理者の指定について 鏡野町立中学校部活動地域連携検討委員会委員の委嘱について 令和4年度12月補正予算について
12月21日	上齋原地域高校生教育支援補助金交付要綱の制定について 鏡野町立公民館設置条例の一部改正について 新型コロナウイルス感染症に係る出席停止報告書の提出廃止について
1月26日	令和5年度教育目標・基本方針・重点課題(案)について
2月24日	鏡野町教育研修会規則の一部改正について 鏡野町立学校管理規則の一部改正について 学校歯科医の委嘱について 鏡野町立学校における働き方改革ワークスタイルプラン(案)について 令和5年度教育目標・基本方針・重点課題(案)について 令和5年度当初予算について 令和4年度3月補正予算について 令和4年度卒業式及び令和5年度入学式出席について 令和4年度卒業式及び令和5年度入学式告辞について
3月9日	(臨時会) 県費負担教職員の任免について 令和4年度卒業式及び令和5年度入学式告辞について
3月23日	鏡野町学校給食費取扱規則の一部改正について 鏡野町立学校条例の一部改正について 鏡野町通学用自動車条例の一部改正について 鏡野町日上山城史跡保存整備基金条例の廃止について 鏡野町文化財保護基金条例の廃止について 不登校児童生徒の「指導要録上の出席扱い」に係るガイドラインについて

② 総合教育会議の開催

総合教育会議は地教行法第1条の4に規定された会議で、教育大綱の策定、教育・学術・文化の振興のための重点的施策、児童・生徒の生命または身体に関する緊急措置などについて、首長と教育長が対等に協議及び調整を行うもので、必要に応じて随時開催をしています。令和4年度の開催日、協議内容及び教育委員会の対応は次のとおりです。

開催日	協議内容	教育委員会の対応
12月21日	教育目標について	令和5年度教育目標の承認
	小学校の教育環境(あり方)について	香北小・富小・上齋原小の閉校
	中学校部活動の地域連携について	地域連携検討委員会(2回)の開催
	社会教育施設の整備について	芳野公民館の大規模改修等
	総合文化施設(ペスタロッツ館)の施設管理業務委託について	研究・検討中

③ 研修

例年各種研修会等に参加し識見の向上に努めています。令和4年度も新型コロナウイルス感染拡大に伴い、多くの研修会が中止になりましたが、可能な研修会には参加するよう努めました。

6月17日	美作地区市町村教育委員会連絡協議会春季研修会 「今、学校に求められるいじめ問題の理解と対応」
11月11日	美作地区市町村教育委員会連絡協議会秋季研修会 「教職員のメンタルヘルスと燃え尽きる前に支え合う職場づくり」

④ 施設訪問

所管施設の現状把握を目的に、町内の全小学校・鏡野中学校を訪問し、加えて新築の公館や大規模改修を行った体育施設を訪問しています。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながら、下記のとおり施設訪問を行いました。

11月1日	富小学校 ・ 香北小学校 ・ 香北公民館
11月8日	鶴喜小学校 ・ 大野小学校
11月29日	南小学校 ・ 香々美小学校 ・ 文化スポーツセンター
12月2日	奥津小学校 ・ 泉公民館 ・ 鏡野中学校

2 教育委員会が管理執行する事務

① 基本的・総務的事務

教育行政重点施策の策定など教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針は、原案や資料を提出し、教育委員会で協議や審議を行っています。規則、告示及び訓令の制定、改廃は、教育委員会で審議し承認を得たのちに施行しています。教育予算は、事務局が各学校等の意見を踏まえて作成し、教育委員会で協議し、町長部局を通じて議会上に上程しています。

② 人的管理に属する事務

町立小中学校教員の県費教職員の人事については、津山教育事務所と連携を図りながら、学力向上や特別な支援を要する児童生徒への対応など、学校組織の強化を目指して行っています。また個々の教職員の資質・指導力向上を図るため、校内、校外における様々な研修を実施するとともに、各校と連携を図りながら学校運営に関する必要な指示、連絡、指導助言を行っています。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

(1) 学校教育及び就学前教育

① 学力の向上

令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、学校活動に様々な制約がありつつも、可能な限り教育課程に基づき児童生徒の教育活動を行うように進めてきました。学力向上については、「学習習慣の形成」と、「書く力・伝える力の育成」の2つの方針のもと、各校全職員で家庭学習の定着に向けた共通理解を図り、自主学習の励行や児童生徒の意欲を引き出す

評価方法、考えを書いたり伝えたりする授業場面の設定、読書推進などに取組みました。また、GIGA スクール構想の充実に向け、児童生徒一人1台の端末活用の推進に努めました。個別学習ドリルの「e ライブラリ」の積極的な活用や、授業での端末活用を促進するように働きかけてきました。

これらの取組の結果、改善した項目もありますが、まだまだ課題も多くみられます。引き続き家庭とも連携しながら、学習時間の確保や書く力・伝える力の育成のための取組を確実に進めていきます。

【全国学力・学習状況調査】※平均正答率の全国との差

	年度	国語 A	国語 B	算数・数学 A	算数・数学 B	英語
小学校	平成30年度	-7.7	-3.7	-6.5	-4.5	
	令和元年度	-1.8		-1.6		
	令和2年度	-2.8		-3.1		
	令和3年度	0.3		-3.2		
	令和4年度	-3.6		-3.2		
中学校	平成30年度	0.9	0.8	0.9	-1.9	
	令和元年度	0.2		-1.8		-4
	令和2年度	-1.35		-3.8		-5.9
	令和3年度	-7.6		-14.2		
	令和4年度	-2.0		-0.4		

注)1. 令和元年度から、各教科の A(基礎)と B(活用)がまとめられ、一体的に問う問題形式に変更されました。中学校の英語は3年ごとに行われています。

2. 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国学力・学習状況調査が行われなかったことから、岡山県学力・学習状況調査の結果を表示しています。全国学力・学習状況調査の対象学年が小学校6年・中学校3年であるのに対し、岡山県学力・学習状況調査は小学校3～5年生、中学校1～2年生に対して実施しています。

② 豊かな心・健やかな体の育成

令和4年度は鏡野町生徒指導推進連絡協議会を3回開催し、保こ幼小中で「基本的生活習慣の改善と定着に向けた共通実践活動の取組」と「各校園でのテーマを決めた実践」に取り組みました。

保こ幼小中の連携については、小学校区での連絡会や鏡野町教育研修会の部会での連携なども含め、教職員が情報を共有し、子どもの発達段階を踏まえた指導の系統性を考慮したり、生徒指導面や就学に向けての情報の引き継ぎをしたりして、よりよいつながりに向けて情報の連携に努めました。

また、スマホやSNSを含むメディアについては、その使用方法が生活習慣の乱れにつながるケースもあり、児童生徒には望ましい使い方を伝えていくことが必要です。各校では、PTAとも連携し、家庭でのルール作りなどを通して、使用の禁止をするのではなく望ましい使い方に取り組みました。

いじめについては、積極的な認知による未然防止と早期対応に取り組みました。軽微なものから積極的に認知するように努めていますが、いじめアンケートや細やかな見守り等に取り組むことで、若干の減少につながりました。長期欠席・不登校については、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、関係機関と情報を共有して、一つ一つの事案に丁寧に根気強く対応しました。個々では登校する日が増えたり、鶴山塾に定期的に参加したりと外出する機会が増え、状態の改善が見られていますが、中学校において長期欠席者数が増加の傾向にあることが課題の一つです。

また、学校教育課のスクールソーシャルワーカーが子育て支援課の臨床心理士と連携しながら、幼稚園、保育園、こども園、小中学校の巡回相談を行うことで、学校と園、行政、外部機関との情報共有や連携をスムーズに行うことができました。

【いじめ・長期欠席・不登校件数】※各年度3月の状況

		いじめ	長期欠席	不登校
小学校	平成30年度	4	9	3
	令和元年度	10	8	2
	令和2年度	6	10	2
	令和3年度	15	8	4
	令和4年度	12	8	5
中学校	平成30年度	0	16	11
	令和元年度	1	19	13
	令和2年度	1	15	9
	令和3年度	2	17	5
	令和4年度	1	25	4

③ 職員の資質・指導力・組織力の向上

町教育研修会で部会ごとにテーマを決め、指導案の検討、公開授業などを通して授業研究や実践交流、情報交換を活発に行い、教職員の資質や指導力の向上を図りました。音楽部会、図画工作美術部会、特別支援部会、養護部会には幼稚園・保育園の職員も参加し、園校種間の連携につながるような研究も行いました。

中学校は、令和2年度より岡山県の指定を受けている「教科指導支援事業」を、令和4年度も継続して実施しました。令和4年度は新たに国語科へと拡充し、数学科・英語科・国語科の3教科で「タテ持ち」を実施しました。定期的に「教科会」を開催し、日常的にOJT(On-the-Job-Training)を行うことで、指導力、授業の質の向上などの効果を得ることができました。令和4年度で県指定は終了しますが、引き続き授業のタテ持ちや教科会のよさを取り入れ、できる範囲で続けていく予定にしています。

各校での講師を招請しての校内研修会や校外の研修会・研究発表会への参加は、新型コロナウイルス感染症により自粛され実施の奨励は困難でした。しかし、オンラインでの研修等は実施が進み、各校から自主的に研修に参加する様子が見られました。

夏季の教職員全員研修会は、川崎医療福祉大学から重松孝治講師をお招きして、通常学級における特別支援教育の観点を取り入れた指導・支援の在り方についての講演を、感染症

対策として会場への限定参加と、オンラインでの各校園からの参加によるハイブリッド形式での研修会を実施しました。

【鏡野町教育研修会開催状況】

	部会数(休部を除く)	研修会回数合計
平成30年度	15部会+2編集部	62回
令和元年度	13部会+2編集部	54回
令和2年度	14部会+2編集部	58回
令和3年度	14部会+2編集部	60回
令和4年度	13部会+2編集部	54回

④ 特別な支援

各校の状況に応じて町費講師等の加配を行い、児童・生徒の個々のニーズにあったきめ細かい支援に努めました。

「鏡野町手をつなぐ育成会」と連携した各学校の特別支援学級に対する助成や、子育て支援課の発達支援コーディネーターなどとの連携による各校、園の巡回相談や、教育支援委員会などを通じ、通級指導教室や特別支援学級の利用につながりました。

【特別支援学級の状況等】

	年度	特別支援学級 児童生徒数	特別支援学級数	町費特別支援講師数
小学校	平成30年度	29	8	8
	令和元年度	36	8	8
	令和2年度	38	8	10
	令和3年度	41	10	10
	令和4年度	55	11	12
中学校	平成30年度	15	3	1
	令和元年度	17	3	2
	令和2年度	18	3	2
	令和3年度	21	3	2
	令和4年度	25	4	2

【就学前通級指導教室利用者数】※毎月の利用者数合計

平成30年度	43人
令和元年度	22人
令和2年度	27人
令和3年度	28人
令和4年度	36人

⑤ 安全確保と教育条件の整備

令和4年度の施設整備等については、各小学校へ自動体外式除細動器(AED)及び防犯カメラシステムの設置を行いました。鏡野中学校では給水ポンプ取替工事、ウッドデッキ修繕工事などを

行い、自動体外式除細動器(AED)の設置を行いました。

また、令和4年度末をもって閉校となった香北小学校・富小学校が、令和5年度からそれぞれ香々美小学校・奥津小学校に統合されるため、及び鶴喜小学校のスクールバスの老朽化により、14人乗り2台と29人乗り1台のスクールバスを購入しました。小規模な修繕については、随時対応し安全安心でより良い教育環境の整備に努めました。

通学路の安全については、平成27年2月に策定した「鏡野町通学路交通安全プログラム」では5年に1回合同点検を実施することになっています。令和4年度に報告のあった各学校等からの通学路の改善要望31箇所全てについて、現状を確認し各学校、建設課やくらし安全課と協議を行いました。町で対応が可能なものは、できる限り早急に改善を行うとともに、警察や県等の対応が必要なものについては、それぞれの機関にお願いをしています。

【通学路安全点検】

年度	箇所数	備考
平成29年度	32箇所	交通危険箇所点検
平成30年度	11箇所	防犯上危険箇所点検
令和元年度	15箇所	防犯上(6箇所) 交通安全上(9箇所)
令和2年度	なし	交通危険箇所点検
令和3年度	10箇所	交通危険箇所点検
令和4年度	31箇所	交通危険箇所点検

注)「鏡野町通学路交通安全プログラム」

児童生徒及び園児が安全に通学や通園ができるように、通学路の安全確保を図るため、関係機関（鏡野町教育委員会・鏡野町建設課・鏡野町くらし安全課・岡山県美作県民局建設部・津山警察署・鏡野町内小中学校・鏡野町内幼稚園・保育園・こども園）が連携して、継続的に通学路の安全を確保するため、緊急合同点検後も合同点検を継続するとともに、対策実施の効果把握や対策の改善・充実を行います。

(2) 社会教育

① 生涯学習の推進

生涯学習の推進については、様々な時期や場面に応じた学習機会を提供し、誰もが生涯にわたって学習するテーマを持ち、自由に選択して学ぶことができるよう中央公民館を中心に12の地区公民館を拠点として事業を行いました。それぞれの公民館では主催講座、自主講座を開催しており、町民が目的に合わせて学習をしています。

ア 公民館活動

中央公民館ではコロナ禍の影響もありましたが、大集会室、講座室、各会議室や総合文化施設などを活用し主催講座 10 講座、自主講座17講座を開催しました。

地区公民館でもコロナ禍の中、講座・教室を開催しましたが、地域活動の文化祭・運動会・世代間の交流行事などは中止になる場合もありました。行事の企画、実施にあたっては、地域づくり協議会や地域住民が中心となって取り組むことが多く、学習活動の広がりを見せています。公民館活動の担い手のひとつである文化協会会員の多数が、鏡野地域の町民であることから、今後も引き続き町内全体の会員を増やすよう進めて参ります。

【地区公民館の講座・教室数】

	講座・教室			講座・教室			講座・教室	
	R3	R4		R3	R4		R3	R4
中央 公民館	26	27	香南 公民館	16	16	奥津 公民館	6	7
芳野 公民館	13	13	香北 公民館	7	7	上齋原公民館	14	14
大野 公民館	20	17	郷 公民館	19	18	富 公民館	11	11
小田 公民館	17	17	泉 公民館	17	14	計	188	183
中谷 公民館	13	13	羽出 公民館	9	9			

おおむね50歳以上の町民などを対象としたシニアスクールはコロナ禍の影響もあり令和4年度は休校となりました。

イ 人権教育

人権教育については、町人権教育推進委員会などと連携し、人権問題講演会を開催し、人権教育の推進を図りました。

ウ 図書館

図書館は、利用登録者数が1万2千人を超え、貸出密度(町民1人当たりの延べ貸出冊数)が、9.4で利用者も貸し出し冊数も県下でトップクラスとなっています。令和4年度は大規模改修のため10月から1月が全面休館となりましたが、中央公民館においてミニ図書室を開き、貸出・返却や他館からの資料取り寄せ等、利用者の希望に可能な限り応えました。

蔵書の充実や、より良い資料の選定と収集を図ることはもちろん、「ブックスタート事業」や「セカンドブック事業」などによる子どもの本との出会いの提供や一度に借りられる本の冊数を10冊から20冊に増やすなど、利用者の増加に努めました。

今後も、町図書館協議会などのご意見をいただきながら、関係団体とも協力して事業を進めていきたいと思っています。

【図書館の利用登録者数等】

年度	利用登録者数	開館日数	入館者数	貸出冊数
令和3年度	11,884人 (内訳) 町内6,992人 町外4,962人	288日	44,965人	119,246冊
令和4年度	12,144人 (内訳) 町内7,064人 町外5,080人	288日	30,981人	87,527冊

エ 文芸振興

文芸振興では、鏡野町文化協会と連携をとりながら諸事業を行いました。

万葉のみち青少年文芸選奨(現代詩・短歌・俳句・川柳の4部門)、香々美川文芸選奨(短歌・俳句・川柳の3部門)の表彰を行いました。

【文芸選奨の応募者数】

年度	万葉のみち青少年文芸選奨					香々美川文芸選奨			
	現代詩	短歌	俳句	川柳	合計	短歌	俳句	川柳	合計
令和3年度	12	97	174	208	491	16	95	64	175
令和4年度	8	115	263	173	559	40	87	67	194

オ 芸術の振興

芸術活動についても鏡野町文化協会と連携し、令和3年度は中止となった町文化祭を開催することができました。またOKUTSU芸術祭への助成や総合文化施設、中央公民館を利用し写真、絵画などの芸術作品の展示を行いました。今後も様々な分野の活動を支援して参ります。施設整備については、総合文化施設改修工事、芳野公民館改修工事など実施しました。

今後も町民のみなさまに使いやすい施設となるよう努めて参ります。

② 青少年の健全育成

子どもたちの支援として、土曜日教育支援事業、放課後子ども教室3教室、学校支援地域本部事業などを行い、かがみのっ子表彰についてはコロナ禍の影響により各小学校を訪問し表彰式を行いました。また、令和元年7月から開始した家庭共育支援チーム「ぼちぼちの部屋」で、子育て中の保護者を対象に家庭問題などの相談の機会を設けるとともに、中高生の居場所作りを試験的に開催しました。

今後も鏡野町青少年健全育成協議会など関係団体と連携協議しながら青少年の健全な育成を図っていきます。

【かがみのっ子表彰者数】

年度	南	大野	鶴喜	香々美	香北	奥津	富	上齋原	合計
令和3年度	52	26	20	6	2	14	4	—	124
令和4年度	35	32	12	5	5	6	2	—	97

【家庭共育支援チームへの相談件数】

年度	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	合計
令和3年度	7	4	10	3	24
令和4年度	11	8	17	6	42

③ 文化財の保護

文化財については、文化財保護審議会や郷土館運営委員会、オオサンショウウオ保護対策委員会などと連携しながら、郷土博物館や奥津歴史資料館において文化財の展示や体験講座を行い、郷土学習や文化財保護意識の向上を図り、町内の文化財の適切な保存・管理を行いました。また、平成29年度に岡山県の調査により町内の吉井川でチュウゴクオオサンショウウオの交雑種の存在が確認されたため、引き続き捕獲調査及び一時飼育・隔離飼育を行いました。(53匹を捕獲し、内8匹が交雑種)

(3) 体育振興

① 生涯スポーツの推進

生涯スポーツについては、スポーツ協会と密接な連携を図りながら、コロナ禍により中止となっていた「かがみのマラソン大会」を3年ぶりに開催することができました。会場、種目を見直し、新たにウォーキング部門を創設するなどし、約500名の参加となりました。

文化スポーツセンター、B&G海洋センター、鏡野ドームを核として町内13施設でコロナ禍の中、多くの町民が快適にスポーツを楽しむことができるよう管理運営に努めました。

スポーツ推進委員会は地区公民館と連携して、ニュースポーツの指導を行い、高齢者などへのスポーツ普及に努めました。

B&G海洋センターの水泳教室は、初心者コース、チャレンジコース、選手コース、女性スイミングコースなど、目的に応じて運営しました。

総合型地域スポーツクラブ「かがみのスポーツクラブ」は、年間を通じて太極拳や筋バランスストレッチ、ニュースポーツ教室などを開催し、参加者からは好評を得ています。

今後も、会員、各教室参加者を募るとともに、安定的な運営のために、引き続き活動を支援して参ります。

② 体育施設の管理

施設管理については、体育・文化施設を指定管理者により効率的な運営を行いました。

また、各施設をみなさんに安全に気持ちよく利用していただけるよう、老朽化が進んでいた奥津町民体育館の外装改修工事を実施しました。

また多目的公園の整備についても引き続き進めており、令和4年10月には西側部分を仮オープンし、大変多くの利用者で賑わいました。

令和5年度も奥津町民体育館の内装改修工事、多目的公園の整備などを行い、誰もが気軽にスポーツに取り組める環境づくりに努めて参ります。

IV 終わりに

令和4年度の鏡野町教育委員会の事務の管理と執行状況に関する点検及び評価は上記のとおりとなりました。今後も町長部局と密接な連携を図るとともに、町民のための効果的な教育行政の展開に努めてまいります。